

土壌分析結果表

No.	B240006			受付日	2024/07/16	作成日	2024/07/16
お名前		園場名	コース	オプション	分析の目的	土壌の種類	作付け予定作物
細野 稔貴 様			標準	CEC	予防診断	砂土	大玉トマト
前作の生育状況		堆肥の施用量		排水性	この度は土壌ワークスの土壌分析サービスをご利用頂き ありがとうございます。		
普通		0 kg/10a		良い			

分析結果表					特記事項				
項 目	分析値	単位	適正值	低い	やや低い	適正	やや高い	高い	
pH	6	pH	5.5~6.5			○			適正值は一般的な作物の値です。
アンモニア態窒素	8	mg/100g	5~15			○			栽培作物によって値が異なります。
硝酸態窒素	3	mg/100g	5~10		○				
可給態リン酸	150	mg/100g	10~75				○		作物の品質や収量は土壌物理性や
交換性カリウム	60	mg/100g	50以下(目安)			○			土壌生物性も大いに影響します。
交換性カルシウム	350	mg/100g	200程度(目安)				○		多方面からの土作りが大切です。
交換性マグネシウム	75	mg/100g	35程度(目安)				○		
交換性マンガン	10	mg/kg	15以上		○				施肥設計を行う際は土壌の種類や
可給態鉄	3	mg/kg	10以上		○				気温、排水性、これまでの栽培管
塩分(NaCl)	0.02	%	0.1以下			○			理状況等を考慮し行ってください
腐植		%	—						
CEC	10	me/100g	15以上		○				土作りは短期間では結果が出づら
塩基飽和度	175	%	60~80				○		く、長期的に改良を行いましょう
塩基バランス(Ca:Mg:K)	10:3:1	—	5:2:1			悪い			
Ca/Mg比	3.3	—	4~8		○				
Mg/K比	2.9	—	2~6			○			
リン酸吸収係数		—	—					程度	

分析結果に伴う所見
リン酸が高いです。カリウム・カルシウム・マグネシウムや微量元素の吸収率が低下し欠乏障害が発生しやすいので注意してください。減肥を考慮してください。
カルシウムが高いです。カルシウムの過剰は、土壌がアルカリ性になり微量元素の欠乏障害を発生させる可能性があります。また拮抗作用によりカリウムやマグネシウムの吸収を抑制し生育に影響します。塩基バランスの偏りには特に注意してください。
CEC(陽イオン交換容量)が低いです。根が濃度障害を受けやすいので、1回あたりの施肥量を少なくしましょう。また、根が養分を吸収できる範囲を拡大するため、作土を深くしましょう。堆肥(腐食)を施用し、CECを向上させましょう。
塩基飽和度は土壌条件や栽培する作物により適正值が異なります。例えばCECが低い土壌の場合、塩基飽和度が00%以上でないと生育に支障がでます。土壌が塩基類を保持する力が弱く、作物の要求する塩基類の絶対量が不足するためです。*塩基飽和度が高いようですが、砂土とのことなので注意し生育を観察しましょう。
塩基バランスに偏りがあります。拮抗作用により養分吸収に偏りが発生し、生育に障害が発生します。塩基バランスが当量比6:2:1、mg/100g比「280:80:90」になるように調整しましょう。

施肥の参考
①増減を必要とする養分(mg/100g)を算出する(目標とする値との差) ②算出値を10aあたりの養分施用量に換算する(増施肥、減肥量) 計算式: 施用量(kg/10a) = (目標値 - 分析値) × 仮比重 × 作土深さ(cm) × 0.1 ③現行施用量と②の値を考慮して施肥の増減を決定する
例: カリウムの分析結果が40mg/100gで、「適正值を50mg/100g」「仮比重が0.8」「作土深さを10cm」とした場合の施肥計算(加里を10mg/100g増やしたい)
計算式を使うと→(目標値50-分析値40)×0.8(仮比重)×10(cm)×0.1=8kg/10a よって10aあたり8kgのカリウムを施肥すると良い。
* 仮比重は土壌の種類によって異なります。 * 作土深さは耕起方法等によって異なります。 * リン酸の計算を行う場合は土壌のリン酸吸収係数を考慮してください。

仮比重	
種類	目安
黒ボク土	0.6~0.8
壤土	1
埴土・埴壤土	1.2
砂土	1.2~1.4
赤黄色土	0.8~1.0

作土層とは
作物の根が容易に伸長できる土層で、人為的な耕耘をした膨軟な部分のこと
作土層の目標 水田: 15~20cm 野菜: 25cm以上 根菜: 30cm以上 ごぼう: 60cm以上

リン酸吸収係数を考慮した計算	
係数	不足1mgあたり施用量
2,000以上(腐植質火山灰土壌)	12
2,000~1,500(火山灰土壌)	8
1,500~700(洪積土壌)	6
700以下(沖積土壌)	4
例: リン吸数800でリン酸が10mg/100g不足の場合 10kg/10a(10mg/100g)×6=60kg/10aとなる * リン酸は土壌の種類により、土壌への固定力が異なる。	

養分過剰な場合の対処法
・減肥 過剰養分を減らす 堆肥の養分も考慮 ・クリーニングクロープ 緑肥を活用する ・深耕、客土 ・湛水除塩 周辺環境への配慮